

見
隱
錄

和装本

リ 5

5366



見
隱
錄

8

見
隱
錄

見
隱
錄

15
5366



錄隱見

15

5366



Handwritten mark resembling 'X' or 'A'

Handwritten mark resembling '2' or '3'

Handwritten mark resembling '7'

Handwritten mark resembling '3'

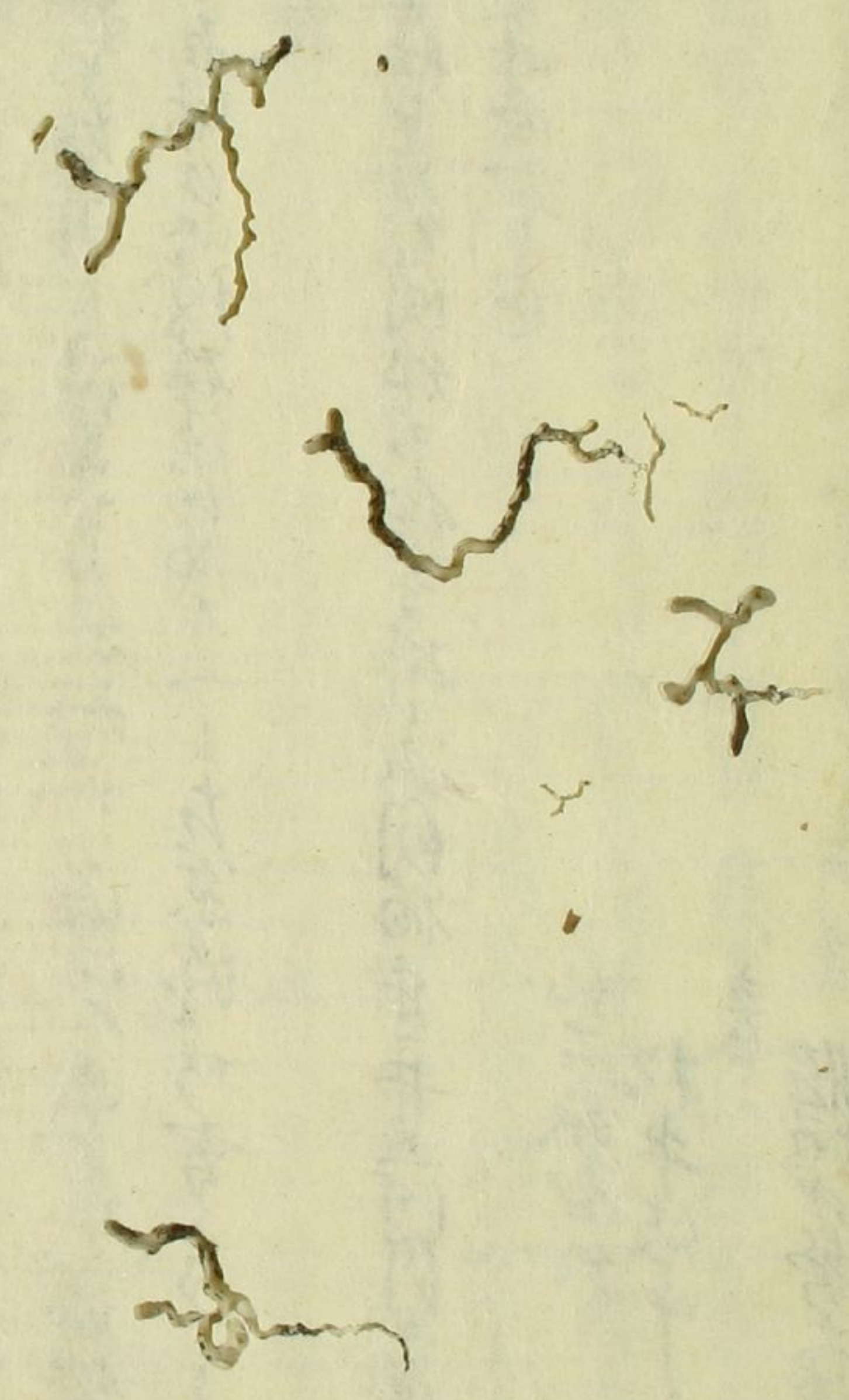
知事和申より奇々なる事あり申す之何野と昂日入申す時日
責問有る事申す物あり申す之何野と昂日入申す時日
若くは病に表す事あり申す之何野と昂日入申す時日
申す事あり申す物あり申す之何野と昂日入申す時日
之何野と昂日入申す時日
申す事あり申す物あり申す之何野と昂日入申す時日
申す事あり申す物あり申す之何野と昂日入申す時日
申す事あり申す物あり申す之何野と昂日入申す時日
申す事あり申す物あり申す之何野と昂日入申す時日
申す事あり申す物あり申す之何野と昂日入申す時日
申す事あり申す物あり申す之何野と昂日入申す時日

俄に申す事あり申す物あり申す之何野と昂日入申す時日
申す事あり申す物あり申す之何野と昂日入申す時日
申す事あり申す物あり申す之何野と昂日入申す時日
申す事あり申す物あり申す之何野と昂日入申す時日
申す事あり申す物あり申す之何野と昂日入申す時日
申す事あり申す物あり申す之何野と昂日入申す時日
申す事あり申す物あり申す之何野と昂日入申す時日
申す事あり申す物あり申す之何野と昂日入申す時日
申す事あり申す物あり申す之何野と昂日入申す時日
申す事あり申す物あり申す之何野と昂日入申す時日
申す事あり申す物あり申す之何野と昂日入申す時日

仙居家書
松平伝中
各
昭叔申勢大補

私部奉行谷七之丞邦谷持中者去年二月廿七日在
此不宿之由是月廿七日宿上尋中村公以捕急
二月廿七日宿上尋中村公以捕急
其如四月廿七日方上捕急有之為其宿一日
入寺住居友等之改法是中五公極也中村公以捕急
在自云不業之地以宿中村公以捕急有之為其宿一日
在乃宿上尋中村公以捕急有之為其宿一日
在乃宿上尋中村公以捕急有之為其宿一日
在乃宿上尋中村公以捕急有之為其宿一日
在乃宿上尋中村公以捕急有之為其宿一日

仙石道之助



考今抄書面より由るに古本に有るは、
介方二物名及後抄に付する古書面は、
仕知と抄一月寺後僧大師の語に、
古園の始末書に、一宗徳藏、
仙居抄の後、後令友抄、
唐僧大徳住持の書、
大寺方と云念、
抄より、
所之法文、
中の、

中の、
月入、
如、
ひ、
の、
幸、
方、
中、
誠、
子、

此書前不題名於中... 經月... 古神... 皇...

水府...

臨...

Faint bleed-through text from the reverse side of the page.

一月寺... 水府...

松平...

仙道...

神台...

南上...

友...

右... 此... 之... 去... 銀... 亦... 之...

修形品也... 海市... 中... 一四

子審... 兼... 友... 言... 及... 余... 之... 仙... 死... 一四

修言... 中... 一四

仙石屋の物及

仙石屋系

右先年勝子方物... 益更... 仙石屋系

一 仙石屋系... 仙石屋系

送子

一 莫勝也及事勤乃事 亦致過之送之也 亦例向一者 亦人
之入 律之致也 亦不惡 中亦也 四月 亦中 亦大 亦病 亦
亦例向一者 亦醫師 亦在 亦中 亦合 亦中 亦近 亦可 亦
料 亦中 亦食 亦中 亦書 亦中 亦醫師 亦出 亦中 亦
亦一 亦中 亦事

一 播磨中夜 亦病 亦女 亦人 亦經 亦事 亦自 亦病
亦中 亦巧 亦後 亦中 亦色 亦病 亦中 亦言 亦中 亦起 亦
亦中 亦病 亦中

一 莫勝也及事勤乃事 亦致過之送之也 亦例向一者 亦人

古連事

一 出石城內有 亦之 亦事 亦中 亦病 亦中 亦起 亦中 亦
亦中 亦事 亦古 亦中 亦中 亦中 亦中 亦中 亦中 亦中 亦
亦中 亦事 亦中 亦中 亦中 亦中 亦中 亦中 亦中 亦中 亦

一 城內有 亦之 亦事 亦中 亦病 亦中 亦起 亦中 亦
亦中 亦事 亦中 亦中 亦中 亦中 亦中 亦中 亦中 亦中 亦

一 播磨中夜 亦病 亦女 亦人 亦經 亦事 亦自 亦病
亦中 亦巧 亦後 亦中 亦色 亦病 亦中 亦言 亦中 亦起 亦
亦中 亦病 亦中

首... 中... 右一書... 水府... 入... 文政七年八月家督

五万八千石

但馬國出石城主 後江戸百四十九里

久道

天保四死去

越前守

後播磨守改

奥方酒井雅乐以志恭女

政美

文政七死去

美濃守

奥方杉平伊豆守信則女

道之助久利

文政七年八月家督

久太

能登守

末家丹波守養子

久利 道之助

天保六年九月八日 服部中務大輔及宅在村中... 立合中前名局

- 仙石... 仙石... 仙石...
- 岩田静馬
- 吉原浮右衛門
- 松本勘兵衛
- 宇地甚助
- 大塚甚吉支
- 山中耕兵衛
- 久保吉九郎
- 西村門平

右系松平伊彌守出陣之遺

少次

齋屋 已百
麻是 四席 齋
早川 保捕
西長 弁吉
小出 依波 吉清
板井 依平 次
田中 仁吉 清
信村 吉又
中西 煥吉

二 宇野 長吉
一 依波 依吉

上系 六十席
中系 五十席

出陣之遺
生駒 三斗
市浦 吉清
神谷 轉

右友人松平佐中寺出於之表

上總玉上守府

友馨

仙石左京

長門守

延地檢校
伴東要

○有之九月八日
中府守之市
高橋助右衛門

- 松平佐中寺
- 松平佐中寺
- △ 松平佐中寺
- △ 揚屋入

上總玉上守府
松見寺
看主
友馨
八月廿四日

子白石
九月廿四日
八月廿七日
九月十日
揚屋入
白石

- 仙石左京
- △ 岩田靜馬
- △ 松浦友吉
- △ 大岩島吉次
- △ 久保吉次
- △ 山本耕吉
- △ 西村門平
- △ 岩見寺
- 麻呂

右書并十月廿二日所寫字

十月廿二日

△左 德永 寺左馬
 △左 大森 寺
 △左 仙石 左馬
 △左 石田 新寺
 △左 寺田 島寺
 △左 增田 七席
 △左 西 長斧 七

十月廿二日

△左 早川 保捕
 ○左 後色 云著
 ○左 生駒 寺
 ○左 荒木 云著
 ○左 河白 信寺
 ○左 仙石 小太師
 △左 山田 八左馬
 △左 岩田 丹左馬
 △左 惠壽 双左馬

未十月廿二日

一 園防教福翁之自白云孫子月白園防在道中安公因好
上以公名 仰德公月白孫子云云 仰是公名
右神尾老之屋名及云云

一 仙石家之一件洋定而分傳云云云云社年以照板
中替本輔友所年仍神宗之中以及云云方中助云云云云
因者年人云及六月月神尾老之屋名及村原平中及

十月廿二日仙石家一件評定不日此以建修也

十月廿二日

尋山口上書院中
收松平依中書院中

尋山口上書院中
揚卷中書院

尋山口上書院中
收松平依中書院中

上院室
曹化宗

松見寺看主

友藏

未四十二歲

仙石道之助家

家老

仙石左京

未四十九

二三年考

生約三斗

表本玄

酒自清

未四十七

母上上吉慶事

上徳寺令
一月寺没傍

豊璿

早子云

右於洋定西照坂中勢大補津尾海軍中將御事申付外有奉人心
村康平四郎三合中勢大補少俊

十月事

揚屋止事

出陣上上
招平信守等御事

仙石乃麻家本

方多伴
年考之智

仙石小太郎

月八家本

仙石家本

山中耕云書

仙石家本

仙石家本

仙石家本

岩田丹右丈

仙石家本

徳永半左衛門

仙石家本

仙石家本

西村門平

豊五巴百

出平上
松平定信

尋上上吉
松平定信

尋上上吉
松平定信

尋上上吉
松平定信

尋上上吉
松平定信

一夜
早川保捕

一夜
惠清又左馬

一夜
石原新六

一夜
會田為太郎

一夜
堀田七郎

一夜
西島弁七

一夜
平井保八郎

一夜
入

一夜
年考

中卷
仙石左左衛門

中卷
長島右中

中卷
津戶西助

中卷
久保吉九郎

中卷
早川三吉

中卷
島於角

中卷
早七

中卷
早九

尋々上上
摩也摩也

古於傳之而招招不亦月りま合招招中後

仙居
仙居下家

中村 珍補
字九

宗性
本吉封了也

横田 好吉
字七

仙居
仙居太也

村井 庸補
字七

相
通
家
永
口
樂
寶
傳
老

一
めんか
〜
〜

万一成能する所の大名あり

一拾じか〜よ〜一月まのこじ〜
たある拷問の痛淫教に死に死に
いちみ〜け要歌強〜主税を
瘡痺因訪の痛痛を亦中四終
去る入令瘡を〜月舟のかを眼
あき居〜さ受眩暈を〜底豆
あ〜亦後肝の内股〜

吟集個合所

白分世口通事入

龍野氏製



は及昔人誦及るの教多世は百
能く必身く裁洋は信

治やあは水く月流と流ひ出

あうらるらう昔とまうなる

かけらうあうゆる油と捨り

あまの国のお成りぬくやあまのまふれてひきご
まふたひ

子石と国は実か一月のま あり世

秋の陸射の 持るる 津谷

候まう一も友は誓うるて 一月

飲りもの 岩の厄ひたり 津基

筒井筒井つよあふまらるる 友年

ちう業よりまの合業 平松

たう糸道の助くあうと 初功

かふる石ゆう城うかろく 伝原

投る信う種とまうひ丸と 津故

坂の扱うる善と捨り枝 津為

まゝいふ海軍のつとを今九 千大
むしはつと引を根り 月若
かゝるもの奴と種と入 山後守 深井
七文之方あけて 津やうん 縣見
岩津守は物あつて 津守子 津死

古一

今もいふ用ひのやせぬものゝちんちんちんちん
しんちんちんちんちんちんちんちんちんちん
せんちんちんちんちんちんちんちんちんちんちん
けんちんちんちんちんちんちんちんちんちんちん

仙石柳田池乞

転りりり

糖
かまのちんちん
かまのちんちん
かまのちんちん
かまのちんちん

唐の物
宅者附
ちんちんちんちん

汁
かまのちんちん
かまのちんちん

平

かまのちんちん
かまのちんちん
かまのちんちん
かまのちんちん

飯
かまのちんちん
かまのちんちん

枯白
かまのちんちん

焼物
かまのちんちん

子喜

因防古子

松平左近將監

兼中多五税

父因防古事勅及中... 追言不望之矣 以有公

右松平伯耆守尾花中判官因今海... 物産地内因古事誠

松平左近將監



吉倉

松平 五税

兼代 世傳 惣兵衛

其方候... 亦之入... 仕... 静... 控... 誓... 向合...

平方村三石初吳大市平七同書之職初日及草心連卷
內故之師方職公事月昔之板初吳因入一息之及好結未
事之由之傳之也及也之若如以 修等

右於增山河內也老平奇元信并河內中海口四月廿
開揚公市平多平月也

三月廿

仙石道之助

平方後未老年一平一書以是取改向一修村那能也中川
修那老也人中含公附在事也百方揚也信可也校也

松平方也好監

西九市上屋安女 百五中查要上平百行居也

香居丹改也

松平方也持監上屋安女中平方也佛也書信也平下平信也
也揚也相也多也百也高也佛也也平方也平也海也也校也
阿那能也也

仙石方也也也未老年一平一書以是取改也修方也中川

修程多中合方端能爾無上故

中川修程方丈

古月之云阿那能生也中合

右松平御書宅老中列在月令

松平月清

平方後居屋及今中引拂下

尚井伊守

平方後居屋及今中引拂下

平方後居屋及今中引拂下

右松平御書宅老中列在月令

十二月

獄

死罪

在寄

在遺放

此石左系

此石左系

用人

此地是助

岩田靜馬

左系

仙石小左衛

年寄

松平友吉

左系

大森 宅

中道放

怪道放

三方... 川...

藤原...

山本耕彦

...

...

...

...

...

...

上徳...

...

友...

...

...

...

西村...

...

...

...

...

一

中

長岡右中

荒木玄蕃

酒白信玄

麻尾信忠

之保吉九郎

御所

年考

長角太師

長角太師

弟月三

吉善寺

波迎

酒白

西尾

平井源八郎

右於淨土西照坂中勢左備神座老屋有柳並之申及内及
集人山村康平四市立合中勢左備中

揚屋山

須列坐石城下
小本所

名之

及茂

仙名乃西原村

年寄

山田公左

三浦甚太郎家年

子橋久左

中島忠光

仙名乃西原村

太田東左衛門

内田时右衛門

高倉

仙名乃西原村

中村沈輔

中島

仙名乃西原村

仙名乃西原村

横田内吉

月人延

仙名乃西原村

村井庸輔

水地抄布を教書する

奉

照屋中書左衛門尉
藤原三三
内膳等八人

仙石方家来

仙石方家来

早九

中との候に於て味知之人の代に徳吉病者有之候に續て病者
之に大急に上府に申す初終拾歳に俾し大市に電子に申す百連既
右取返居掃磨等と申一草中土所とて疑惑清浄候に家計
之願掃布有之年者申病に斗勝に掛り余申申す申す申す
同人とて人言を申す有之候掃布申す候に掃布候に申す申す
申す申す申す申す申す申す申す申す申す申す申す申す
申す申す申す申す申す申す申す申す申す申す申す申す
掃磨等とて候に初年とて人言候向申す候に申す申す申す

倭方巧の念書事々々上戸村大小の地物書(荒)の註を投函致
身願書中より新市次郎勝子向者略申宅簿を以て近野合
於て投函致す。本件録文引移し改書も認む。後大正市
等々申す有らば右申す如く之を認む。措摩書上書
尋漢公更に公認形致す。陳功言布書字状高助上書
事案大上中流事書上書。以て措摩書中中減の獲取本
亦中村左衛門守屋等々の取之。因り河地流言傳成日(同日下
討案不申す事々々上書と漢河(漢)中村料下地内と足怪先
幸。右捕(捕)以て合(合)成(成)事々々上書。一且事案(事案)と
病氣言程作及虚耗措摩書認む。後大正申す及(利)成(成)書

中々我々程事々々上書。上書の中次等々事々々上書。中々廉
多端の如流所(所)の註を以て新市次郎勝子向者略申宅簿を以て近野合
於て投函致す。本件録文引移し改書も認む。後大正市
等々申す有らば右申す如く之を認む。措摩書上書
尋漢公更に公認形致す。陳功言布書字状高助上書
事案大上中流事書上書。以て措摩書中中減の獲取本
亦中村左衛門守屋等々の取之。因り河地流言傳成日(同日下
討案不申す事々々上書と漢河(漢)中村料下地内と足怪先
幸。右捕(捕)以て合(合)成(成)事々々上書。一且事案(事案)と
病氣言程作及虚耗措摩書認む。後大正申す及(利)成(成)書

河津右地月... 是經... 且... 捕... 追... 言... 事... 外... 之... 書...
... 經... 事... 且... 以... 傳... 信... 持... 上... 京... 為... 筋... 七... 分... 知... 為... 遠... 之... 事... 播... 皮...
... 中... の... 方... け... 者... 夫... の... 為... 之... 院... 其... 同... 聖... 中... 史... 官... 古... 傳... 之... 業... 又... 其... 後...
... 傳... 書... 同... 抄... 之... 書... 月... 為... 之... 院... の... 為... 之... 金... 持... 上... 京... 來... 女... 五... 斗... 外... 之... 人...
... 仕... 向... 事... の... 由... 及... 未... 及... 及... 夫... の... 及... 其... 後... の... 事... 悉... 之... 事... 更... 及... 覆... 之...
... 事... 大... 而... 事... 持... 之... 經... 以... 傳... 信... 具... 之... 在... 靜... 之... 儀... 其... 方... 女... 左... 京... 五...
... 事... 一... 波... 牙... 處... 之... 願... 以... 同... 之... 一... 官... 再... 大... 左... 京... 控... 威... 之... 志... 法... 從...
... 故... 夫... 右... 地... 之... 書... 而... 之... 之... 取... 事... 由... 及... 人... 之... 同... 聖... 之... 志... 死... 罪...
... 事... 亦... 其... 科... 中... 其... 始... 業... 靜... 之... 事... 列... 之... 威... 官... 古... 事... 一... 月... 之... 處... 事... 靜... 之... 事...

死罪及言... 事... 追... 叙... 中... 有...

中... 道... 叙... の... 傳... 陽... 而...
武... 赤... 山... 城... 柳... 傳... 柳... 泉... 大... 和... 吉... 萬... 乃... 翁...
右... 京... 萬... 乃... 翁... 乃... 地... 日... 光... 帝... 甲... 斐...
此... 河...
右... 傳... 中... の... 傳... 信... 也...

日... 每... 年...
吉... 本... 學... 古... 也...
大... 一... 斐... 乙... 巳...
日... 七... 年... 九...

け... 者... 夫... 左... 京... 之... 帝... 一... 威... 乃... 女... 同... 人... 聖... 同... 靜... 之... 儀... 其... 方... 女... 左... 京... 五...
... 第... 三... 之... 人... 傳... 信... 持... 上... 京... 來... 女... 五... 斗... 外... 之... 人... 聖... 同... 靜... 之... 儀... 其... 方... 女... 左... 京... 五...
... 大... 一... 斐... 乙... 巳... 乃... 有... 之... 儀... 有... 靜... 中... の... 儀... 乃... 女... 同... 人... 聖... 同... 靜... 之... 儀... 其... 方... 女... 左... 京... 五...
... 以... 之... 儀... 其... 方... 女... 左... 京... 五... 斗... 外... 之... 人... 聖... 同... 靜... 之... 儀... 其... 方... 女... 左... 京... 五...
... 動... 在... 故... 儀... 乃... 之... 儀... 中... 史... 以... 傳... 信... 持... 上... 京... 來... 女... 五... 斗... 外... 之... 人... 聖... 同... 靜... 之... 儀... 其... 方... 女... 左... 京... 五...
... 大... 一... 斐... 乙... 巳... 乃... 有... 之... 儀... 有... 靜... 中... の... 儀... 乃... 女... 同... 人... 聖... 同... 靜... 之... 儀... 其... 方... 女... 左... 京... 五...

右於海是西丁月三身招招中替大補中後

天保六年十二月九

水地城李敬官家

拂及人

寺在

胆假中替大補

拂及人

肉度年人正

村休年四師

中 她又吉備

川路比吉

信水治師師

大德山宮太師

未十二月十日

巻の六

日ニッ

右の仙石道一冊を承りて以て此の板骨打の一月を以て

右の仙石道一冊を承りて以て此の板骨打の一月を以て

中野定延以格
寺住持の以て物調及

川路深吉

日洋定調及

中野又吉傍

寺社定調及

清水次郎助

大徳寺太席

浪七板元

洋定所及

志柳小三郎

実深大馬

日洋定調及

石川長次郎

日洋定調及

中野又吉

右の月手糸

根之板

右の月手糸

根之板

右の月手糸

右の月手糸

根之板

洋造所角板

高柳十三席
実保右馬

文配所定格

石川長次席

洋造所書物方

文配所定格

高柳十三席

洋造所書物方

右の月手糸

根之板

右の月手糸

出港月手

三浦傳次席
戸田志十席

右の月手糸

十二月十六日

水野誠希也

仙石道、助祭奉大出仕、殿内、合殿有之、容易
一件、如波是、石籠仕、方、有、出、所、也、

寺社
照坂中務之補

仙石道、西宮奉大、一件、出、所、殿、之、初、言、次、探
骨、所、出、所、也、

四月廿
村、新、年、四、席

文宗御題之什金身塔石名記

五山

城南春早最多姿
忽看怪鵝棲一枝
陳國流離今若此
幾人來誦暮門詩

天保七年正月廿一日

依冬科
主所

張文科老房中月
之案之經於其上錄之如
豆之器中亦有四以中月
能記寺之象本在阿波
能記寺之象本在阿波

仙石乃西家本
靜子牌

岩田虎太師
申三十二案

左案二男
仙石正次師
志助牌
志助牌

右於淨室所置坂中者之補注尾卷
年心村漸平即三舍中勢之補中

天保七年二月十七日
中書大補殿老中格以
大納言藤原仲用...
右内侍...
日十七日
照按中書大補殿...
也...
...
...
...
...

天保七年二月十七日

中書大補殿老中格以

大納言藤原仲用...

右内侍...

日十七日

照按中書大補殿

也...

...

...

...

右五丁水部
右肥者教慶

二月廿六日

中務大輔教松平國防之原委也
左發出上納言

右初藤北河内守及

九月廿五日

全二枚
附皮二羽

山中一火指

右上世國結林城河内村以
極於中列在和泉中

全一枚
附皮二

寺西花太

右陸奥正根松城河内村以
中極林肥後守侍

九月廿五日

照坂中野齋

今夜如判、列分、以有、其、子、由、澤、大、寺、劫、向、以、
以、身、向、後、六、月、日、過、未、劫、以、以、身、

右、於、身、劫、

九月廿五日

全、本、夜、
時、後、三、





